

エッセー
自然が
育む
力

考えています。

天気の良い日を見計ら とかの言葉が出てしまい

自然遊びを大切にして
きたいと思います。

（尼崎市立美方高原自然の家所長 田中誉人）

春風が心地良い季節で、
ウ、春風の土の香り…。

すね。何となく暖かい陽気に誘われて散歩したくなります。外へ行きたく

りといつもの公園に出掛「こと」として考えてしま
けましよう。もちろん、
子どもが泥んこになって
走り回るのを許してほし
にしましよう。

こと」として考えてしま
うことがあるので、大人
も一緒に遊ぶ感覚を大切

なる衝動というこの季節
ならではのチャンスを逃
さず、子どもたちを伴っ
て野山へ行きましょう。

春はゴロゴロ大作戦！

土の感触は一生の宝物

子どもたちは冬の習慣か

ら、室内遊びで時間を過
だけで何となく自身が子

いのです。草が生い茂り、
ゴロゴロと遊び始める

ごさうとしてしまいま どものころを思い出し、

虫が多い夏とかと違って、**気付くのですが、若草**

す。季節の変わり目は気ホツとくつろびますよ

て、春は地面に座りやすが芽吹いた地面はとても

分の切り替え、遊びの切ね。そう、春の記憶は1

く、転げ回るには最高で気持ちがいいもので、い

り替えの時期でもありま 年で最も「優しさ」と「愛

す。斜面をゴロゴロ転がつの間にか、大人も子ども

情」と「安らぎ」を感じ

ってみましょう。

もも笑顔が出てきます。

さて、春の匂いといわやすい記憶でもあり、ス

子どもを見守っている 春だからこそ、学びや教

れて何が思い出されます トレートに古里の感覚と

だけでは、どうしても行育論を難しく考えるよ

か？ 梅の花、フキノト して生涯身に着くと私は

動を制約したくなり、「危り、笑顔が笑顔をつなぐ



斜面を楽しく転がる子ども。笑顔の花が満開です